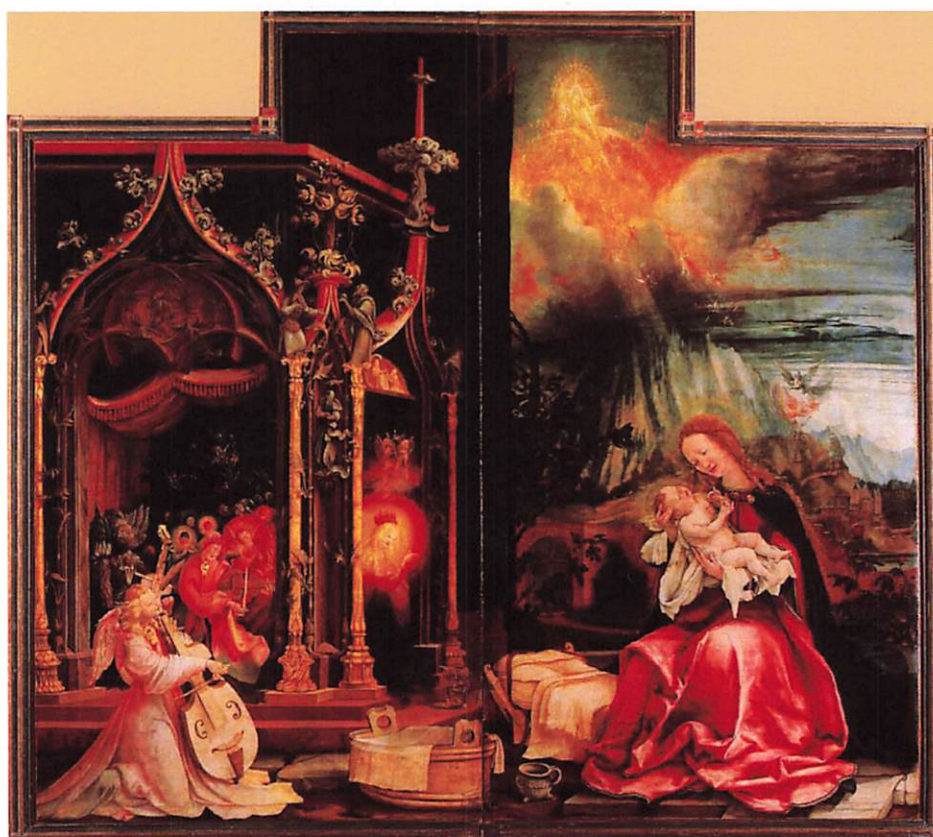


# 香川日独協会会報

Japanisch-Deutsche Gesellschaft

KAGAWA



第15号

Mai 2010

## 目 次

|                                         |      |    |
|-----------------------------------------|------|----|
| ご挨拶 .....                               | 武部裕光 | 3  |
| 平成 21年度香川日独協会事業報告 .....                 |      | 4  |
| ドイツ連邦共和国大阪・神戸総領事館見学会                    |      |    |
| 香川日独協会ドイツ訪問                             |      |    |
| 香川日独協会のドイツ訪問に参加させていただいて     (横田郁代)      |      |    |
| ビールを楽しむ会                                |      |    |
| ベルリンの壁崩壊並びにドイツ統一 20 周年記念巡回展             |      |    |
| 記念講演会「ベルリンの壁崩壊 20 周年」                   |      |    |
| オクトーバーフェスト ～ドイツワインを楽しむ会～                |      |    |
| クリスマス会「リース作りとドイツのクリスマス」                 |      |    |
| 春を呼ぶ会 ～ドイツ料理を楽しむ会～                      |      |    |
| 平成20年度香川日独協会事業報告 .....                  |      | 14 |
| Petra Nagel さん歓送日帰りバスツアーの思い出     (渡辺幸子) |      |    |
| ドイツ語スピーチコンテスト .....                     |      | 21 |
| ドイツ最年少作家レアンダー君が来県 .....                 |      | 28 |
| 会計報告 .....                              |      | 29 |
| 平成22年度香川日独協会事業計画（案） .....               |      | 31 |
| 香川日独協会会則.....                           |      | 32 |

## ご挨拶

香 川 日 独 協 会  
会長 武 部 裕 光



香川日独協会会報の発刊にあたり、ご挨拶を申し上げます。私は昨年5月に開催された総会において会長に選出されました。細川初代会長、中村2代会長と引き継がれてきた香川日独協会の伝統を引き継ぐのは大変重荷ではありますが、会員の皆さんと共に頑張りたいと存じます。ご協力をお願い致します。

平成21年5月に会長に就任しましたが、最初は会運営の流れが分からず、右往左往しました。しかし理事会の皆様の絶大なご協力で最初のイベントのビールを楽しむ会が多数(47名)の参加を得て開催され、幸いにも出席された会員の皆様に好評をいただき、以後はすべての行事を順調に開催することができました。

私とドイツとの関わりは、1971年にドイツのゲーティンスティチュートへ留学しドイツ語を学んだことが始まりです。ストゥットガルトの北東70kmにあるシュベーパービッシュハルでひと冬過ごしドイツ語漬けの毎日を過ごしました。授業中はドイツ語以外全く話さない担任の教師の授業は、土曜日も含めて大変ハードでしたが、ディクタート中心の授業で本当にドイツ語が身に着いたと思います。その頃の冬のゲーテの受講生は、東欧からの亡命者が多く、アラブ系、北部アフリカ系など世界各地からいろいろな人種が集まっており、面白い経験ができました。日本の大学で2年間ドイツ語を学んではいましたが全く喋れなかった者が、2か月でとにかく日常会話や簡単な意見交換ができるまでに成長し、自分でも驚いています。しかし私のドイツ語はそれ以後低下するのみです。

その頃はまだまだドイツは遠い国で、渡欧する安旅行の若者にはナホトカ航路とソ連国内線の飛行機を乗りついで、ウィーンがヘルシンキへ抜けるルートが人気でした。格安航空券などなかった時代です。またドイツから日本へ電話をかける場合、郵便局へ行って通話を申し込み1時間以上待って繋がったらやっと電話ができるというシステムでした。現在の通信環境からは想像できません。IT、交通事情は大きく変わり日独両国の交流はほんとうに便利になりました。

2年前にシュベーパービッシュハルを再訪しました。コッハー川にかかる屋根付橋、教会、ノイバウザール等の歴史的な建造物と共にシュタートミッテの町並みは昔記憶したままで、全く変わってはいません。ゲーテの建物もそのままです。まだまだノスタルジーにふける年齢とは思っていませんが、学生時代過ごしたままの環境に戻ると気持ちは若くなりました。昔感動した場所を再訪するのも旅の方法と思います。ドイツの田舎町はかたくなに地方を守っており、日本も見習う点が多いと思います。

# 平成21年度 香川日独協会事業報告

## 会 議

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 平成 21 年 5 月 17 日  | 定例総会   |
| 平成 21 年 5 月 17 日  | 第1回理事会 |
| 平成 21 年 6 月 14 日  | 第2回理事会 |
| 平成 21 年 8 月 30 日  | 第3回理事会 |
| 平成 21 年 12 月 13 日 | 第4回理事会 |
| 平成 22 年 3 月 7 日   | 第5回理事会 |

## 主催行事

|                           |                            |      |
|---------------------------|----------------------------|------|
| 平成 21 年 4 月 29 日          | 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館見学会       | 18名  |
| 平成 21 年 6 月 7 日<br>～ 14 日 | 香川日独協会ドイツ訪問                | 14名  |
| 平成 21 年 7 月 11 日          | ドイツビールを楽しむ会                | 49名  |
| 平成 21 年 9 月 15 日          | ベルリンの壁崩壊20周年巡回展 ～23日       |      |
| 平成 21 年 9 月 23 日          | ベルリンの壁崩壊20周年記念オルブリッヒ総領事講演会 | 123名 |
| 平成 21 年 10 月 31 日         | オクトーバーフェスト（ドイツワインを楽しむ会）    | 48名  |
| 平成 21 年 12 月 3 日          | クリスマス会                     | 30名  |
| 平成 22 年 2 月 11 日          | 春を呼ぶ会（ドイツ料理を楽しむ会）          | 51名  |

## 表 彰

|                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 平成 21 年 10 月 31 日 | 香川県国際交流協会設立20周年記念奨励賞受賞 |
|-------------------|------------------------|

## その他行事(会長・他)

|                     |                                     |
|---------------------|-------------------------------------|
| 平成 21 年 4 月 19 日    | 全国日独協会「若手会員の集い」(東京・JGK長澤)           |
| 平成 21 年 4 月 20・21 日 | 全国日独協会連合会総会開催(千葉幕張メッセ・中村前会長)        |
| 平成 21 年 5 月 7 日     | トーマス・トゥリラードイツ大使館一等書記官、EU協会学校訪問授業で来県 |
| 平成 21 年 8 月 2 日     | ドイツスポーツ少年団との交流会                     |
| 平成 21 年 8 月 14 日    | ドイツ総領事館訪問、新総領事表敬                    |
| 平成 21 年 8 月 28 日    | ビールとドイツ音楽の夕べ(丸亀)                    |
| 平成 21 年 8 月 29 日    | ミューラー領事、ドイツ俘虜墓参同行                   |
| 平成 21 年 9 月 15 日    | 総領事知事表敬に同行                          |
| 平成 21 年 10 月 2 日    | 総領事館主催ドイツ統一記念日レセプション(神戸)            |
| 平成 21 年 10 月 31 日   | (財)香川県国際交流協会創立20周年記念式典、(西原・向井副会長)   |
| 平成 21 年 12 月 3 日    | 総領事館訪問、ドイツ・クリスマスマーケット大阪2009 参加      |



## ドイツ連邦共和国大阪・神戸総領事館見学会

日時 平成 21 年 4 月 29 日（水・祝）

場所 大阪・神戸総領事館

参加者 16 名

ゲロルト・アメルンク総領事のご高配により、総領事館見学会が実現しました。総領事館の役割や日々の業務について話を伺い、大使の部屋を含めて館内の説明をしていただきました。まず、館内に入る警備が厳しかったこと、館内設備（部屋のデスクデザイン等）やご用意していただいたもの（ミネラルウォーター等）がドイツのもので、日本にあってもそこだけはドイツでした。



## 香川日独協会ドイツ訪問

日時 平成 21 年 6 月 7 日（日）～14 日（日）

参加者 14 名

ベルリン駐在神余隆博日本国大使の帰郷をきっかけに、姉妹提携協会のボン独日協会をはじめ、ベルリン日本大使館、ニュルンベルクのタダノ・ファウン GmbHなどを訪問。

ボン独日協会との交流会（6月7・8日）

Bonn 独日協会ボルン会長、メンヒェ女史などの出迎えをうけ訪問団 14 名は午後 8 時ホテルに無事到着しました。翌日は Bonn のメンバーとともにライン河 Rhein 沿いにバスを走らせジーベンゲビルゲ(Siebengebirge 俗称：七つ山)の山並みを、Godes berg からの眺めを楽しみ、Bonn 大学、旧日本大使館など市街を一巡し、ベートーベンハウス、アルトラットハウス広場など中心街を散策。花盛りの菩提樹の下で“Lindenbaum 菩提樹”をみなで合唱したのもいい思い出です。Bonn の息子（ベートーベン Beethoven）のデフォルメ写真スポットで Bonn の人たちと記念撮影。旧交を温めるには余りにも短い滞在でしたが両協会の固い絆を確かめ合い、あわただしく別れを告げて空路 Berlin へ。



ベルリン駐在・神余隆博日本大使を訪問（6月8日）  
空路 Bonn から Berlin 到着後、夕刻 バスは日本大使館へ。

Hiroshima str. (ヒロシマ通り)かいわいは緑に包まれた閑静な地区で、大型バスで乗り込んだ前庭には小鳥が啄んでいました。神余大使は一人一人を出迎えて下さり、明るく大変親しみやすいご夫人には常に気配りをいただきました。館内を大使自ら案内下さり日本を代表する画家たちの素晴らしい作品が部屋を飾り国の誇り余りあるものです。



大広間での食事会では緊張がほぐれ、瞬くうちにさぬき弁の会話が飛び交い大変和やかな盛り上がり時に過ぎました。香川にご縁のある若い研修生ご夫妻も同席されて“さぬきの日”となり、香川日独協会訪問団にとって記念すべき旅の思い出となりました。

タダノ・ファウン GmbH の工場見学（6月11日）

Nürnberg 郊外にある広い敷地の工場に到着。多田野栄顧問ご夫妻同道の一行は Herr Sonntag 取締役の出迎えを受け会議室で会社説明と質疑応答があり、就業内容も環境も異なるドイツの勤務内容を興味深く伺う。大型クレーンを搭載する頑丈なトラックが並んだ工場は壮観でした。



午後からは古い佇まいを見せる石たたみの路をたどり、城壁を巡らすカイザーブルグ皇帝城周りを散策。この上なく充実した Nürnberg の休日となりました。

## 香川日独協会のドイツ訪問に参加させていただいて

横田 郁代

前夜まで準備していた厚めの衣類を現地の天気予想が急変し、薄めの衣類に入れ替えての出発でありました。

私共は急遽の参加で成田発にてフランクフルト空港で皆様をお待ち致しました。リール経由でさぞかしお疲れかと思っておりましたが、元気いっぱいでの合流でございました。

最初のボンでは、早朝、ホテルからブラブと中心部を散策することができました。

通勤時の中央駅やまだお店が出ていないマルクト広場、マルクスやハイネが学んだボン大学、緑豊かな庭園ハーガルテンなど昼間と違った静かな佇まいが印象的でありました。

独日協会の方々とリンデンバウムの木の下で「菩提樹」をドイツ語と日本語が入り混じって合唱できたことは、忘れえぬ思い出であります。

ベルリンではポツダム会談の舞台であったツェツィーリエンホフ宮殿は、美しい湖畔にたたずみ周囲に緑も多く、心地よさを感じました。

また、宮殿内のデイナーでは、春の味覚シュパ・ゲル（白アスパラ）を頂きました。

「春が訪れて嬉しい気持ちは、ドイツの冬を体験してみないと実感できない。」と言った友人の言葉を思い出しながら、冬が長いドイツに住む人々にとって、春は本当に待ち遠しく喜びもひとしおなのだと思います。

その中庭の几帳面に植えられた花々の色彩と甘い香りにも感動いたしました。

次に訪れたニュルンベルクは、私にとってもう一度訪れたい街のひとつとなりました。

あのホテル（MARITIM）に泊まり、芸術・文化史の収集品を誇るドイツ最大のゲルマン博物館で、ペーハイムの世界初の地球儀やデューラーやレンブラントの絵画等、素晴らしい展示品をもう一度ゆつくりと見、一日で二度行くことになったレストラン（GOLDENES POSTHORN）へも再び行ってみたいものだと思います。

波乱万丈の過去を持つこの町に世界一有名と評されるクリスマスマーケットを訪れることは、旅の味わいをさらに深めてくれることでしょう。

途中の激しいスコールも、最強晴れ女さんたちのお蔭で濡れることもなく、また、この時期私にとっては大変悩まされる蚊も、かの地ではないということで快適な旅を続けることができました。

ドイツ語で「赤の城壁」そのもののローテンブルグでは、その赤色の屋根が醸し出すロマンチックかつメルヘンチックな美しさが魅力的でありました。建物の軒先を飾る鉄看板は、個性豊かなデザインで意匠みあふれ、暫し立ち止まり何のお店か想像するのも楽しいひと時でありました。かつて城塞が築かれたというブルグ庭園からは、素晴らしい郊外・溪谷が見られ、その光景は忘れられません。

また、何十年も前に訪れたお店がそのままそこにあったということも驚きの一つです。

中世から現代そしてこの先へと流れる未来でもずっと変わらぬ姿であってほしいと心から思わずにはいられない旅でありました。

## ビールを楽しむ会

日時 平成 21 年 7 月 11 日 (土) 午後 7 時より

場所 リーガホテルゼスト高松 屋上ビアガーデン

参加者 49 名

今年度も暑気払い恒例の「ビールを楽しむ会」が開催されました。

武部会長のあいさつ、多田野顧問の乾杯の音頭「Prost!」に待ちきれぬビアジョッキ。Löwenbräu(レーベンプロイ)を片手に、ミュンヘンしながら、大変にぎやかに、楽しく2時間の会はあっという間に向井副会長の閉会の辞へと進んだのでした。

今回は 44 名という多数の参加を得、まだまだ飲み足りない会員の面々へ、秋の「オクトーバーフェスト」で今年はドイツワインを楽しむ会開催の予定が武部会長より発表されました。



## ベルリンの壁崩壊並びにドイツ統一 20 周年記念巡回展

日時 平成 21 年 9 月 15 日（火）～23 日（水）

場所 アイパル香川 1F

ベルリンの壁崩壊から 20 年目の節目の年に当たる今年 9 月 15 日から 23 日にかけて、高松市のアイパル香川で「ベルリンの壁崩壊ならびにドイツ再統一 20 周年記念巡回展」が開催されました。

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館と香川日独協会との共催という形で実施されたこの巡回展は、写真展とポスター展という二段構成により展示がなされました。

写真展は 1961 年の壁構築前後のベルリンの様子を紹介する写真から始まり、壁構築の様子、壁構築後の殺伐たる街の様子に続き、1989 年の民主化運動とその後の壁崩壊に至る一連の流れを 42 枚の写真でわかりやすく紹介されました。

ポスター展は「平和革命から再統一へ」と題されたテーマでの 20 枚のパネルで構成され、壁崩壊前の東ドイツ市民の不満、その後の民主化運動、壁崩壊、そして東西ドイツ統一へ向けての流れが巧みに説明されていました。20 年前の出来事を改めて振り返る、貴重な機会となりました。



- |     |                                                                                            |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主 催 | 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館<br>香川日独協会                                                                |
| 後 援 | 香川県、香川県国際交流協会<br>朝日新聞高松総局、四国新聞社<br>毎日新聞社高松支局、読売新聞大阪本社<br>NHK 高松放送局、KSB 瀬戸内海放送<br>RNC 西日本放送 |

## 記念講演会「ベルリンの壁崩壊 20 周年」

講師 ドイツ連邦共和国総領事  
アレクサンダー・オルブリッヒ氏  
日時 平成 21 年 9 月 23 日（水）午後 2 時より  
場所 アイパル香川 3F 大会議室  
参加者 123 名

巡回展最終日、本年 7 月に就任されたドイツ連邦共和国総領事アレクサンダー・オルブリッヒ氏による記念講演会「ベルリンの壁崩壊 20 周年」が開催されました。

武部会長の挨拶、総領事の経歴紹介に引き続き、総領事館赤松恒樹翻訳官の通訳を交え、講演が始まりました。講演では、1961年に始まった東西ベルリンの境界線の封鎖、ベルリンの壁建設から、1989年のベルリンの壁崩壊にいたる経過がパワーポイントを使って分かりやすく紹介していただきました。来場者も皆熱心に耳を傾けていました。ベルリンの壁が崩壊して 20 年が経過しましたが、改めてその時の情景が鮮やかによみがえり、多くの人々の努力と苦労が思い起こされました。





## オクトーバーフェスト～ドイツワインを楽しむ会～

日時 平成 21 年 10 月 31 日 (土) 午後 7 時より

場所 リーガホテルゼスト高松 2F 時香

参加者 48 名

今年度新企画の「オクトーバーフェスト～ドイツワインを楽しむ夕べ」が開催されました。

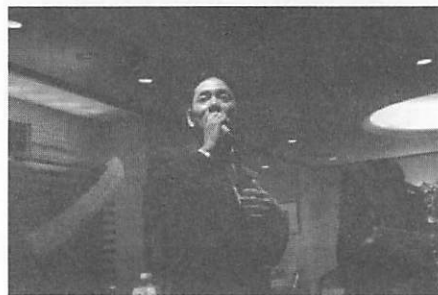
武部会長の挨拶のあと、向井副会長より、(財)香川県国際交流協会創立 20 周年記念奨励賞受賞の報告があり、表彰状が披露されました。

続いて、特別ゲストのシニアソムリエ高橋有紀氏の紹介があり、高橋様からまず、乾杯酒のゼクトの説明の後、多田野榮顧問による乾杯がありました。ゼクトとはドイツ産のスパークリングワインで、さわやかな味です。

そのあとは、ワインを順に楽しみながらの懇談へと移りました。今回のホテルからのお料理は、特にソーセージなどドイツより空輸いただいたこともあり、ホテル調理部顧問の佐々木様よりお話をいただきました。

武部会長よりご寄贈のすっきりした爽快なフランケン地方の白ワインに引き続いて柔らかい癒しのナーエ地方の白ワイン、繊細ななかにも骨格のしっかりしたバーデン地方の赤ワイン、そして最後にデザートとともにファルツ地方のサワーチェリーリケールが、各テーブルを回りながらの楽しい高橋ソムリエの解説とともに、ドイツ料理と流れるようなハーモニーを醸し出します。

最後は、西原副会長の閉会の挨拶で来年の開催も約束し、ワイン同様、心地よい余韻に包まれながらお開きとなりました。



## クリスマス会「リース作りとドイツのクリスマス」

日時 平成 21 年 12 月 12 日 (土) 午後 1 時より

場所 香川県社会福祉総合センター 7F

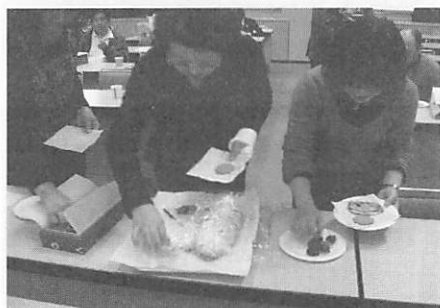
参加者 30 名

今回は、若者の会 (JGK) が企画運営をさせていただきました。まずは、11 月 29 日 (土)、メンバーの有志で、立本道子会員ご指導のもと、参加者の皆さんに食べて頂くシュトレン作りをしました。ドイツでは、食べて楽しむのみでしたが、シュトレンの材料や作り方、また歴史などを知り、その美味しさに益々興味がわきました。

さて、クリスマスイベントの当日は、留学生の Tobias (蔦明日) 君が、ドイツのクリスマスについて彼の家を例にあげ、分かりやすく面白く話してくれたり、クリスマスに食べるお菓子の写真も見せてくれました。

その後、JGK メンバー川田敦子さんを講師に、クリスマスリース作りに挑戦しました。始めは苦戦しておりましたが、完成すると同じものは一つ無く、個性に溢れた自分だけのリースが出来上がり、参加者の皆さんの笑顔を見ることができました。

最後は、手作りのシュトレン、そしてドイツのハーブティーを味わい、作業の疲れを癒して頂きました。



## 春をよぶ会～ドイツ料理を楽しむ会～

日時 平成 22 年 2 月 11 日 (木) 正午より

場所 リーガホテルゼスト高松 2F 時香

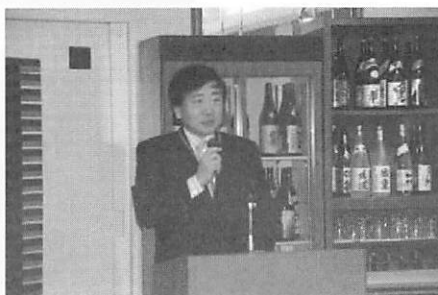
参加者 51 名

年初恒例の「春をよぶ会」が本年度も開催されました。

宮内理事の進行により、武部会長のご挨拶ののち、香川大学教授 最上英明事務局長による「トゥーランドットと妖精」の講演が行われました。講師紹介は、西原副会長です。世界初の先生の翻訳解釈部分など、最上教授の出版した著書に基づき、音源を交えながらのとても興味深く楽しい講演で、オペラへの理解も深まりました。

講演の余韻も冷めやらず、会員の大坂さんご提供の世界三大貴腐ワイン「トロッケンベーレンアウスレーゼ」で乾杯し、いよいよ待望のドイツ料理に舌鼓をうちます。料理はシュバーベン地方の郷土料理シュペッツレなど、日頃香川では食することのできないドイツ料理が提供されました。

さらに、特別ゲストのフリーリンク氏によるマジックショーで会は盛り上がり、向井副会長の閉会の挨拶まで、お開きの時間も忘れるほどに盛況な会となりました。



## 平成20年度 香川日独協会 事業報告

### 2008 年

4月13日(日)、14日(月)

「若者の会」に増岡秀樹さんが出席 事業報告と計画を発表

大使レセプションの席上で優秀賞を受ける(14日)

4月14日(月)、15日(火)

全国日独協会総会開催・スクワール麹町にて 会長出席

主にドイツとの交流と若者対応について報告。

5月8日(木)、9日(金)

ドイツ大使館参事官ゲーリック文化部長が来県

EU 協会主催のEU国紹介事業の一環として香川大学教育学部附属坂出中学校、高松市立塩江中学校で講座をもたれた。

8日夕刻より協会員有志で夕食会開催。

5月29日(木)

第1回理事会開催 高松市内

5月31日(土)

「日本の文化を知ろう ～端午の節句編」(TUBASA 18 共催)

アイパル香川2F和室

6月8日(日)

平成20年度香川日独協会総会、懇親会開催

全日空ホテル・クレメント高松2F霞・暁

7月14日(月)

ペトラさん歓送日帰りバスツアー

駒ヶ林陸軍墓地、西本願寺塩屋別院、中津公園、沙弥島の浜辺

7月21日(祝)

「日本の文化を知ろう ～七夕の節句編～」(TUBASA 18 共催)

「ゆかた」を着てみませんか? アイパル香川3F和室

7月19日(土)

平成20年度国際インターンシップ交流会 香川大学工学部に於開催。

8月20日(水)

「ビールを楽しむ会」がリーガホテルゼスト高松で開催されました。

9月23日(祝)、24日(水)

「日本の文化を知ろう～重陽の節句・お月見編～」(TUBASA 18 共催)

アイパル香川3F和室、1Fアイパルプラザ

10月5日(日)

「かがわ国際フェスタ2008」にJGKが参加

10月19日(日)

講演会「ドイツの温暖化防止政策」とドイツ環境保全ポスター展Ⅱ

ドイツ総領事ゲロルド・アメルンク氏がアイパル香川で約100人の参加者を前に、ドイツの環境政策を紹介し、地球温暖化に対する日本の積極的な取り組みを呼びかけた。



平成20年度香川日独協会総会



ペトラさん歓送日帰りバスツアー



日本の文化を知ろう～七夕の節句編



平成20年度国際インターンシップ交流会



日本の文化を知ろう～重陽の節句編



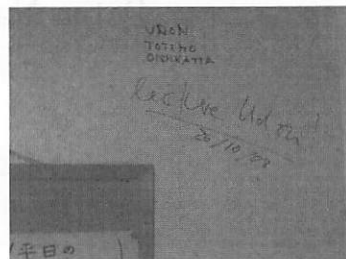
講演会「ドイツの温暖化防止政策」と  
ドイツ環境保全ポスター展Ⅱ

10月25日(土)、26日(日)

独日協会連合会会長 Vondran ご夫妻来県

西日本を旅行中のご夫妻が屋島山上に投宿。屋島寺宝物館、丸亀町商店街、栗林公園などを見物、セルフサービスのうどん店で快食。

そして壁に記念サインを残された。



独日協会連合会会長 Vondran ご夫妻来県

## 2009 年

1月8日(木)

中村会長 ドイツ連邦共和国功労勲章を受章

勲章伝達式はドイツ連邦共和国総領事館にて行われ、ゲロルト・アメルク総領事より伝達されました。協会員7名列席



中村会長 ドイツ連邦共和国功労勲章受章

1月31日(土)

「日本の文化を知ろう～正月・人日の節句編～」(TUBASA 18 共催)

正月の福行事を体験しよう! アイパル香川 3F 和室



日本の文化を知ろう～正月・人日の節句編

2月11日(水)

全日空ホテルクレメント高松にて、恒例の新年会「春を呼ぶ会」が開催されました。今年は特に、先月ドイツ連邦共和国ケーラー大統領から中村会長に授与された「ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小綬章」の祝賀をかねての楽しい会となりました。



春を呼ぶ会 2009

2月27日(金)

在ドイツ日本大使 神余隆博氏帰郷レセプション

全日空ホテルクレメント高松 21F シエロ



在ドイツ神余隆博大使来県レセプション

3月29日(日)

「日本の文化を知ろう～上巳の節句編～」(TUBASA 18 共催)

アイパル香川 3F 和室

## 後援事業

☆ 第8回全国ドイツ語スピーチコンテスト 2008年10月25日(土)

☆ 2008「かがわ第九」演奏会 2008年11月3日(祝) PM2:00

香川県民大ホール

☆ まるがめ第九 2008年12月21日(日) PM2:00

丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス)

☆ 第16回チター音楽祭 10月26日(日) 高松テルサホール



## Petra Nagel さん歓送日帰りバスツアーの思い出

渡辺 幸子

いよいよ Petra さん歓送日帰りバスツアーの日（2008 年 7 月 14 日）がやってきました。朝から快晴、強い日射しの中、私は心を弾ませながら JR 高松駅バスターミナルへといそぎました。バスは既に待っていてくれました。Petra さんをはじめ、ほとんどの参加者は既に自己の好む席に着き、にぎやかに会話を交わしていました。車内はとても良いふんい気にあふれていました。私はただちに、素晴らしいバスツアーが展開するであろうことを予感しました。

バスは定刻に発車し、まずは、丸亀・駒ヶ林旧陸軍墓地（テンメ墓碑）へと向かいました。さぬき浜街道を走る車窓からは、左に山々、右には町並みのむこうにおだやかな瀬戸の海が見えました。

間もなくバスは第一目的地の丸亀・駒ヶ林陸軍墓地（テンメ墓碑）へと到着しました。松の木陰に多くの墓が列をなしていたのには少し驚きました。また、日本古来からの墓との違いを考えたりしました。美しく並べられたこれらの墓は、西南の役（1877 年～）満州事変（1931 年～）までの戦争で犠牲となられた戦死者・病没兵士たちの墓でした。なおまた、ここには、ロシアとドイツ軍の兵士の墓もありました。ドイツ軍の兵士の墓には、アマンディス・テンメさんが祀られていました。彼は第一次世界大戦（1914 年＝大正 3 年）のとき、捕虜となって丸亀俘虜収容所（塩屋別院）に送られ、22 歳で病（十二指腸虫）のため、悲しくもこの世を去りました（1915 年＝大正 4 年 6 月 6 日）。

私たちは、彼や彼の近くの墓の周辺を清掃し、墓石を水で清めました。墓の土台となっている石の透き間から雑草のごとく多くのすみれの草花をみることができましたけれど…。季節がめぐりくれば白、黄、紫などの小さなかわいい花々が彼の墓を美しく飾ることでありましょう。他の墓も同様に。

まずは、Petra さんがテンメさんの墓に花束を供え、祈りを献げました。彼女の緊張した様子からテンメさんへの彼女の熱い思いが伝わってきました。私たちも彼女に続けました。静けさと微風の中で。





次に訪ねたのは、京都西本願寺塩屋別院でした。ここは、日露戦争（1904 年～1905 年＝明治 37 年～38 年）や第一次世界大戦（1914 年＝大正 3 年～）において俘虜となったロシアやドイツ将兵たちの丸亀収容所でありました。そもそもこの寺は、塩屋塩田を開拓した赤穂（兵庫県）の人びとと共に移ってきた教法寺を再興させ、丸亀藩主京極高矩（1724 年から 39 年間治世）が今日のような壮大な寺を建立したのでありました。

私たちは、大門から雄大な本殿前へとすすみ線香をともし賽銭を奉納し、祈りをささげて堂内へとすすみました。私はひたすら「平和」と「健康」を願いました。皆様も同様であったかと思えます…。

堂内では、住職様が、寺の歴史などについてのお話をして下さいました。流暢なお話は、とてもすばらしく、心に残りました。短時間ではありましたが堂内を見学させていただきました。私は欄間（？）とそれへの色彩に非常に興味をそそられました。それはどのような意味があるのか知りたいと思いました。また、当時の宮大工さんの技の偉大さに感動しました。写真に収めさせて下さったので眺めては考えています。



体内時計も食事を求める時刻となり中津万象園懷風亭へと行きました。はやる心を抑え、しとやかに（？）用意された部屋へと入りました。テーブルと椅子が用意されていてほっとしました。食事が運ばれてくる間、庭園を眺めました。まず視野に入ってきたのは赤い流線型の橋でありました。栗林公園のそれかなと思わせるような！

ところで、ここ中津万象園は、二代目藩主京極高豊侯が気分転換のための休息する場所の一つとして中津の松原に庭園を造ることを考えました。先祖の地の近江（滋賀県）を思う心を表現した回遊式庭園であります。具体的には、瀬戸内海の美しさを眺めたり、庭園内の池を船でたのしむことができるような工夫（乗船のための石段＝雁木）を施したり、池のほとりに茶室を建て園内や瀬戸内海の美しさを眺めながらお茶をたのしむことができるようにもしたのであります。高豊侯は、このように庭園造りに情熱を注いだのであります。この庭園を万象園と呼ぶようになったのは、明治以降であります。

さて。食事の後のデザートは大きな美しいケーキの登場となりました。庭園の琵琶湖をかたどった八景池の鯉たちを大きな拍手と歓声で驚かせたにちがいないと思います。もちろんケーキ入刀は Petra さん。満面の笑みと共に慣れたしぐさで美しく切り分けたケーキが彼女より一人一人

に渡されました。ケーキは彼女とのこれまでのたのしい交流、そして別れを思うとき、甘くもあり、また、ほろにがくもありましたがおいしくいただきました。いつまでも彼女を思いつつ…。



懐風亭でリフレッシュした私たち一行は、坂出の沙弥島へと向かいました。かつては、漁船などでこの島へ渡ったでありましたが、今は歩いて上陸できるようになっていました。島のナカンダ浜から眺める瀬戸大橋は絶景でありました。

青い夏空、おだやかな瀬戸の海、そこに浮かぶ島々、心地良い微風、どこまでも続く瀬戸大橋の幾何学的模様に誰しも絵心や詩心をゆさぶられたことでしょう。

なだらかな岩石の遊歩道をゆっくり歩き、沙弥島（万葉の島）の随所にみられる考古学、歴史そして文学の香り豊かな史跡にふれ、遠い昔に思いを馳せました。その一つは柿本朝臣人麻呂の歌碑でした。それには次のように揮毫されていました。



讃岐の狭き島の石の中の死人を見て、柿本朝臣人麻呂の作る歌一首并せて呈歌

220 玉藻よし 讃岐の国は 国からか 見れども

飽かぬ 神からか ここだ貴き 天地 日月

と共に 足り行かむ 神の御而と 継ぎ来る

中の浪ゆ 舟漂けて 我が漕ぎ来れば 時つ

風 雲居に吹くに 沖見れば とみ波立ち

辺見れば 白波さわく いさなとり 海を恐

み 行く舟の 梶引き折りて をちこちの

島は多けど 名くはし 狭き島の 荒磯面

に 臨りて見れば 波の音の しげき浜辺を

しきたへの 枕になして 荒床に ころ臥す

君が 家知らば 行きても告げむ 妻知らば

来も問はましを 玉梓の 道だに知らず お

ほほしく 待ちか恋ふらむ 愛しき妻らは

221 妻もあらば 摘みて食べまし 沙弥の山野

の上のうはぎ 過ぎにけらすや

222 沖つ波 来寄する荒磯を しきたへの 枕と

まきて 寝せる君かも

いよいよバスツアーの終わりが近づいてきました。ナカンダ浜近くの木陰でスイカ割りをたのしみしました。大きくて重いスイカがビニールシートの上に置かれました。本日の主役の Petraさんは、ハンカチで両目を覆われ、長さ1mほどの竹を持たされて現れました。竹でスイカの所在を探し当てようといろいろと工夫されました。周囲からは、各種の声が飛び交われ彼女は戸惑いつつも、スイカの所在を探しあて、力を込めて竹を振りおろしました。1回目の当たり場所は、スイカの上部の中心部分でしたが皮が少しはがれたのみでした。二度、三度と挑戦し続けました。当たりは良かったけれどスイカの方がやや勝っていました。彼女は根気強く挑戦しつづけました。最後にスイカが少し割れてくれました。大きな拍手と歓声が Petraさんを包みこみました。

蟬の鳴き声も一段とにぎやかになったように思われました。私たちは、Petraさんの苦労とよろこびの込められたスイカをたくさんいただきました。とてもおいしかったです！このようなスイカを再び彼女と共に食べることができる日がくることを願いつつ…。



ここで、一応本日のスケジュールも終わり、私は帰途につくわずかな時間を見計らってナカンダ浜辺まで降りて行き、やさしく打ち寄せる波と遊んだり、貝拾いをたのしみしました。さらには、瀬戸の海へむかって大きく両腕を広げ深呼吸をしました。自然への感謝と一体感を味わったひと時でありました。

帰途についたバスは、五色台スカイラインを通りJR高松バスターミナルへと向かいました。

五色台は、坂出市と高松市にまたがり、北から紅峰、黄峰、黒峰、青峰、白峰の五つの連峰が瀬戸内海からいきなりそびえる溶岩台地であります。スカイラインは、坂出と高松市の境を縫うように南北に走っています。バスはカーブのゆるやかなスカイラインを走りつづけ、緑の山々や瀬戸の海を絶え間なく見せてくれました。水平線上にたなびく夏雲、点在する瀬戸の島々、島々を横切る瀬戸大橋などが茜色の中に存在しはじめました。この景色は、まさに一幅の絵でありました。

場面は変わり、各自がつづった Petraさんへのメッセージを長澤さんがまとめて下さり、リボンの花と共に包装して Petraさんへプレゼントして下さいました。Petraさんは、美しいそれを高く掲げ感謝の気持ちを表されました。バスの中は再度、大きな拍手であふれました。長澤さん、いろいろとご配慮ありがとうございました。





本日のバスツアーは好天に恵まれ、身近なところの日本の歴史、文化さらには考古学などに触れ大いに興味をそそられた一日でありました。特に、かつてドイツやロシアの俘虜の人々との国境を越えた香川・丸亀での交流は世界平和の原点であると思います。これを機に近代化をめざした日本は、ドイツとの交流を深め多くのことを学んだのであります。私たちは、今一度歴史をふりかえり、これからの日本のあるべき姿を考えねばならないと思います。香川日独協会は、独自で、または、他の協会と共に世界の平和と友好関係のさらなる構築をすすめていきましょう。

最後になりましたが、香川国際交流員としての Petra さんが任務を終え 8 月に帰国されました。寂しくなりましたが今後も交流を続けましょう。高松在住中は、困難なことも多くあったことかと思ひます。ご苦労さまでした。感謝!!

われわれ一同、いつの日かまたお会いできる日をたのしみにしています。ひとまず Auf Wiedersehen !

本日の歓送バスツアーを計画・運営して下さった中村会長をはじめ協会の方々、特に丸亀、坂出の協会の方々には、参考資料をいただいたり、現地での受け入れ体制に多大なお力添えをいただいたことに厚くお礼申し上げます。

なお、安全で心地良いバスの運転をして下さった運転手様はすばらしかったです。  
ありがとうございました。

2008 年 7 月 31 日

#### 参考資料

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| 1. 人権の地を訪ねて ①丸亀塩屋別院      | 香川日独協会 |
| 2. 塩屋別院が収容所に<br>俘虜軍人     | 香川日独協会 |
| 3. 塩屋御坊を手掛けた文人殿様<br>京極高矩 | 香川日独協会 |
| 4. 中津万象園を造る<br>京極高矩      | 香川日独協会 |
| 5. 沙弥島史跡案内               | 香川日独協会 |
| 6. 柿本朝臣人麻呂の歌             | 香川日独協会 |

## 第9回全国ドイツ語スピーチコンテスト実施報告

非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル主催、大阪・ハンブルク友好都市協会共催による『第9回全国ドイツ語スピーチコンテスト』が平成21年10月17日(土)、大阪国際交流センター(大阪市天王寺区上本町 8-2-6)で開催されました。審査の結果大阪・ハンブルク友好都市協会会長賞は奥田美理さん(甲南女子高等学校2年)が受賞し、親善大使としてハンブルクに派遣されます。最優秀賞は櫛引彩乃さん(上智大学3年)が受賞し、両名には副賞として日本-ドイツ往復航空券がルフトハンザ・ドイツ航空会社ベッツ日本支社長より贈呈されました。審査は Dr.アレクサンダー オルブリッヒ大阪神戸ドイツ連邦共和国総領事(審査委員長)、オットー F. ベッツ ルフトハンザドイツ航空会社日本支社長(審査副委員長)、ミヒヤエル シュレーン大阪ドイツ文化センター館長等12名で行なわれました。

100名を超える参加者で大阪国際交流センターの小ホールは熱気に包まれ、活気溢れるスピーチコンテストとなりました。3分間のスピーチに続き審査員からドイツ語で質疑応答が行なわれました。今大会の応募者総数は32名で、プレコンテストの結果10名が本戦に出場しました。いずれ劣らぬ素晴らしいスピーチで、スピーチコンテスト終了後懇親会が国際交流センターさくらの間で開かれ、南都大安寺貫主/奈良日独協会会長の河野良文さんの音頭で乾杯がなされ、和やかに日独交流の輪が広がりました。ドイツ独日協会連合会を代表してゲサ ノイエルト副会長、KSB 瀬戸内海放送の加藤宏一郎社長のご挨拶に続き、ドイツより来日中の第26代ハンブルク桜のプリンセス アニカ シュルツェさんからお祝いのメッセージがあり、懇親会に花を添えました。また、このドイツ語スピーチコンテストに毎年学生たちに応募を勧めるなど、長年に渡りドイツ語教育に力を注いでこられた長崎外国語大学クラウディア マラ准教授に日独友好特別賞が授与されました。安藤るりさん(京都市立芸術大学大学院)によるソプラノ独唱、ビッグエス インターナショナルと縁の深いドイツワイン農家より直接入手したドイツ白ワインで日独交流は大いに盛り上がり、日独の国際親善の輪がまた一段と広がりました。

尚、第10回全国ドイツ語スピーチコンテストは2010年11月14日(日)、非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル主催、大阪・ハンブルク友好都市協会、全国日独協会連合会共催のもと第9回と同じく大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)で開催いたします。詳しくは非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナルのホームページをご参照ください。

以上

非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル(香川県高松市)は法務局に登録された法人組織で、名前が示すように「非営利の株式会社」で、特定非営利活動法人=NPOではなくNPC(Non Profit Company)。日独の交流を軸として、国際交流活動、社会貢献活動、青少年育成支援活動などを通じて日独の交流を広め、深める活動を行っています。「ドイツ語スピーチコンテスト」(2000年に第1回大会を開催)は今年で10回目。ドイツでの「日本語スピーチコンテスト」、日独の青少年を対象とした「青少年の主張・私の人生設計作文コンテスト」は第1回コンテストが2009年5月23日、ドイツ国ハンブルグ市庁舎でハンブルク大学日本学研究室、大阪・ハンブルク友好都市協会との共催で開催され、第2回日本語コンテストならびに作文コンテストは2010年6月23日ハンブルク大学で開催されました。又、ドイチェ ヒュッテ(ドイツの館:香川県高松市)を拠点に、ホームステイや文化体験、企業研修等の諸活動を行っています。社会貢献活動として、世界各地の紛争や内紛で負傷した子供たちのリハビリを行っている「ドイツ国際平和村(ドイツ・フリーデンスドルフ)」への募金活動を行っている。2009年5月に現地を訪れ第6回目の贈呈を行い支援総額は600万円となりました。この施設は個人や団体からの寄付でまかなわれており、今後も引き続き支援活動の輪を日本全国に広げて参ります。

## 第1回日本語スピーチコンテスト・作文コンテスト写真



### 第1回日本語スピーチコンテスト・作文コンテスト

2009年5月23日 ハンブルク市庁舎

審査委員長 成宮総領事、副審査委員長上田浩ニケルン文化会館 館長

Prof. Dr. Jörk Quenzerハンブルク大学アジア・アフリカ研究所長

中央はハンブルク市科学研究省 Herr Reinert次官



### 第1回日本語・作文コンテスト

最優秀賞受賞者(ニナ・ドレーフスさん/ケルスティン・

ゲルプケさん)と成宮清介審査委員長

(在ハンブルク日本総領事)

2009年5月23日 ハンブルク市庁舎



## 非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル 大阪・ハンブルク友好都市協会 『第1回日本語スピーチコンテスト・作文コンテスト』結果報告

非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル主催、ハンブルク大学日本学研究室、大阪・ハンブルク友好都市協会共催による『第1回日本語スピーチコンテスト並びに第1回青年の主張・私の人生設計作文コンテスト』が平成21年5月23日(土)、ドイツ国ハンブルク市の市庁舎で開催された。今年は大阪・ハンブルク友好都市提携20周年記念としてハンブルク市で開催された。自由・ハンザ都市ハンブルク州議会プロローグ副議長、同科学研究省ライネルト次官をはじめ日独友好関係者120名が集まり開催された。審査委員長は在ハンブルク日本国総領事館の成宮清介総領事、副審査委員長はハンブルク大学アジア・アフリカ研究所(日本学)ヨルク・クエンツァー研究所長、ケルン日本文化会館上田浩二館長。会場は自由・ハンザ都市ハンブルクの市庁舎。約110年の歴史をもつドイツルネッサンス様式による由緒ある建物で、スピーチコンテストが行なわれたカイザーザール(皇帝の間)は1895年、時の皇帝ウィルヘルム2世の訪問でその豪華さを世に知らしめることになった有名なハンブルクの名所。この伝統と荘厳な雰囲気の中で日本語スピーチコンテストの熱演が繰り広げられた。この日本語スピーチコンテストは35歳までのドイツ在住者で、両親ともに日本語を母国語としない人で、日本滞在期間が通算1年以内の人が対象。プレコンテストを経て9名が本戦に出場し、最優秀賞に輝いたのはニナ・ドレーフス(ハンブルク大学)さんで、メダルとルフトハンザドイツ航空のドイツ・日本往復航空券が贈呈された。優秀賞はカタリーナ・コッパートさん(テュービンゲン大学)とコオベアマ・バッフォさん(フランクフルト大学)が受賞し、それぞれ副賞としてパナソニックドイツ社よりメダルとデジタルカメラが贈呈された。また、日独の青少年を対象とした「第1回青年の主張・私の人生設計作文コンテスト」は日独での審査の結果、最優秀賞はケルスティン・ゲルプケさんが受賞し、最優秀賞の副賞としてドイツから日本への往復航空券がルフトハンザドイツ航空会社より贈呈された。また、優秀賞は村垣音和さん(吹田市立高野台中学校)とゲニース・フリントさん、優良賞は松岡明宏さん(さぬき市立志度東中学校)と浅沼 秋さん、佳作はキム・ユチョン(神戸朝鮮高等学校)等日独合わせて27名が発表された。(詳細は非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナルのホームページに掲載) 優秀賞、優良賞の副賞としてメダルとパナソニック社からデジタルカメラが又佳作としてメダルと図書券が贈呈された。スピーチコンテスト終了後市庁舎のビュルガーマイスターザール(市長の間)に会場を移し懇親会が開かれ、日独交流の輪が広がった。今後ともドイツ在住の青少年を対象にスピーチコンテストや作文コンテストの開催が予定されている。

また、非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナルはこれまで、日本国内でドイツ語スピーチコンテストを開催しており、第7回大会(2007年10月12日)は東京のドイツ大使館でドイツ大使館フィッシャー公使(当時)を審査委員長として開催。第8回大会(2008年10月25日)はドイツ連邦共和国総領事館アメルンク総領事を審査委員長として大阪で開催し、第9回大会は2009年10月17日(土)、大阪・ハンブルク友好都市協会と共催で、ドイツ連邦共和国総領事館オルブリッヒ総領事を審査委員長として大阪国際交流センターで開催いたしました。第10回大会は2010年11月14日(日)大阪・ハンブルク友好都市協会、全国日独協会連合会共催のもと、大阪国際交流センターで開催します。

非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル(香川県高松市)は法務局に登録された法人組織で、名前が示すように「非営利の株式会社」で、特定非営利活動法人＝NPOではなくNPC(Non Profit Company)法人で、株式会社組織ですが、利益を一切追求せず、寄付やボランティア活動により運営資金はまかなわれています。日独の交流を軸として、国際交流活動、社会貢献活動、青少年育成支援活動などを通じて日独の交流を広め、深めることを目的としています。「ドイツ語スピーチコンテスト」(2000年に第1回大会を開催)や「ドイツ国際平和村」への募金活動(毎回100万円を贈呈し、総額600万円)等のフイランソロビー活動やドイツの館(やかた:香川県高松市)を拠点としてドイツ人のホームスティや様々な文化体験、企業研修等の諸活動を行っています。

### 大阪・ハンブルク友好都市協会

設立目的は大阪市と自由ハンザ都市ハンブルクとの間で1989年(平成元年)5月11日に署名された友好都市提携宣言に基づき、両市の経済、科学、技術、文化、その他各分野の交流を深め、両市の発展と市民の相互理解並びに友好親善を図るとともに、日独両国の友好親善に寄与することです。おもな活動は両市代表団の相互訪問、大阪市立大学とハンブルグ大学の学術交流、ハンドボールなどのスポーツ交流、ドイツ語スピーチコンテストの開催及び入賞者のハンブルクへの派遣、国際交流のタベなどで、ドイツ語スピーチコンテストでの大阪・ハンブルク友好都市協会長賞の受賞者はハンブルク親善大使としてハンブルクに派遣される等様々なイベントに参加します。

## ●国際交流活動

非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナルは日・独国際交流活動の拠点として昨年4月、香川県高松市扇町に Deutsche Hütte（ドイツの館）を開館いたしました。開館式にはドイツ連邦共和国アメルング総領事（当時）ご夫妻をはじめ、大西秀人高松市長、佐久間昇二（株）WOWOW 相談役（元松下電器副社長）、野田大燈喝破道場理事長、牟禮昌忠香川経済同友会代表幹事（牟禮印刷（株）社長）、川北哲香川県中小企業家同友会代表幹事（（株）創裕社長）亀井俊明前鳴門市長、大平康喜穴吹カレッジグループ専務理事、川上三郎鳴門市ドイツ館館長補佐など日独交流を支援する団体や企業の人々約 90 名が集い開館を祝いました。

Deutsche Hütte（ドイツの館）は2階が非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナルのオフィスで3階～5階は宿泊施設になっています。4階には映画「バルトの楽園」で実際にロケセットに使ったバラッケ（ドイツ人俘虜収容所）内の木製の2段ベッドや掲示板等を鳴門市より譲り受け展示しています。ここを拠点に昨年はハロージャパン2009の研修生、NRW 独日育英会研修生、ブレーメンギムナジウム研修生が香川、徳島での様々な研修体験と共に、香川日独協会の若手メンバーたちや、研修企業での社員との日独交流の輪が広がりました。喝破道場での座禅体験、桂きものサロンでの着物着付体験、塩江藤川牧場での酪農体験、植村農園でのアスパラガス栽培体験、牟禮印刷工場見学、ブックオフ視察、穴吹学園でのネール教室体験など様々な分野での日本体験研修を行ないました。日本三大名園といわれる栗林公園、琴平宮、アートの島、直島へのクルージング、鳴門市ドイツ館の見学など日本を代表する文化にも触れるなど貴重な体験をして貰いました。

### 写真



Deutsche Hütte(ドイツの館)



桂きものサロン(貴迎館)での着物着付体験



Hallo Japan2009

喝破道場野田理事長と直島へクルージング



穴吹カレッジでの体験研修



ブレーメン キムナジウム生徒たちと

高松北高校生との交流

## ●ドイツ国際平和村募金支援活動

非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナルは西暦 2000 年よりドイツ国際平和村募金支援活動をスタートし、これまで多くの方々からご支援いただき、2009 年 5 月 25 日に第 6 回贈呈式を行いました。一円募金からスタートしたこの支援募金は累計総額 6 百万円という大きな金額に達しています。これからも皆さまとともに支援募金活動の輪を広げ、ドイツ国際平和村の活動の一助となりますようお願いしております。

2001 年 11 月 26 日にドイツ語スピーチコンテスト最優秀賞受賞者 2 名とともにドイツ国際平和村（ドイツ国オーバーハウゼン市）を訪れ第 1 回贈呈式（支援金額 100 万円）を行いました。デュッセルドルフ日本人学校の児童たちも参加し、ドイツ国際平和村の子供たちと歌やゲームなどで交流を深めました。このときの模様は「世界うるるん滞在記」（2001 年 12 月 23 日放映）で紹介されました。また、2009 年 8 月 29 日放映の TV 番組「うるるん番

外編」で私たちの支援活動の様子が再度取上げられ紹介されました。

ドイツ国際平和村より感謝のメッセージが届いています。



**FRIEDENSDORF<sup>®</sup>**  
**INTERNATIONAL**

Sehr geehrte Damen und Herren in der Firma BIG-S International,  
Sehr geehrte Damen und Herren in Japan und in Deutschland,

Seit der Gründung im Jahr 1967 kümmert sich **FRIEDENSDORF INTERNATIONAL** um kranke und verletzte Kinder aus Kriegs- und Krisengebieten. Die Arbeit von **FRIEDENSDORF INTERNATIONAL** finanziert sich fast ausschließlich aus Spenden und Mitgliederbeiträgen. Allerdings ist in den letzten Jahren unser Spendenaufkommen stark zurückgegangen, gerade deshalb sind wir sehr dankbar für Ihre Unterstützung und Engagement. Dank Ihrer Spendensammelaktion können wir unsere Arbeit fortführen. Bitte bleiben Sie der Arbeit von **FRIEDENSDORF INTERNATIONAL** treu, denn es gibt zu viele Kinder, die dringend unsere Hilfe benötigen.

非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナルと  
日本・ドイツの皆様

1967年の設立以来、ドイツ国際平和村は、紛争で被害を受けた地域や危機的状況にある地域の病氣や怪我を食った子どもたちを援助してきました。この活動は会員費と世界中からの善意の寄付金で成り立っていますが、ここ数年、寄付金収入が減っています。非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナルのご協力によって集まる支援金は、この活動を続けていく上で大きな助けになっています。心から感謝申し上げます。ドイツ国際平和村の援助を必要としている子どもたちは世界中にまだまだたくさんいます。この子どもたちの活動のために、引き続き皆様の温かいご支援をなにとぞお願い申し上げます。

Ihr  
**FRIEDENSDORF INTERNATIONAL**  
ドイツ国際平和村  
代表 トーマス ヤコブス  
Thomas Jacobs



ドイツ国際平和村の子供たち(2009年5月 第6回贈呈式)

## ●日独国際文化交流支援活動

ドイツ人による独和辞典が70年ぶりに発刊され、非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナルはこれに協賛をいたしました。この独和辞典はドイツのユディツイウム社で発刊されたもので、A-Iまでの第1巻が10年の歳月をかけてやっと編纂され出版されたもので、日独関係者には貴重な辞典で、今後予定されている第2巻(3年後)、第3巻(6年後)の発刊が待たれる辞典です。編集したベルリン自由大学のイルメラ・日地谷・キリシュネライト教授は「用例が豊富なので、読んでいて楽しいはず」と話している。価格は278ユーロ。日本の大型書店で、4万円前後で輸入販売されています。





## ドイツ最年少作家レアンダー君が来県

ドイツの最年少作家 Leander Winkels 君が 4 月 4 日、母親と高松に来ました。

彼は 1996 年 2 月 3 日生まれで、今年 14 歳。なんと 13 歳で作家としてデビューしたという神童。

ドイツの TV 番組「2009 年話題の人々」で文学界の最年少スターとして出演し、一役有名になりました。

私達ビッグ・エスインターナショナルで歓迎し、琴平・屋有名島など観光地を案内してドイツの館（Deutsche Hütte）に宿泊しました。当日はちょうど大手前中学・高校の入学式の日に当たり、そこへ飛び入り参加。大喜びした生徒たちより「なぜ作家になったのですか」「日本語をどのように勉強したの?」「何故そんなにかっこいいのか」

などの質問を受け、明るく日本語で返事をしていました。思わぬ日独若者交流ができた次第です。

その様子はテレビの夕方のニュースでも放映されました。

高松に来たきっかけはデュッセルドルフでの「日本語スピーチコンテスト」で昨年度最優秀賞を獲得したことによるものです。このとき 13 歳でした。彼は 6 歳から日本語を勉強、かなりの日本ファンであります。

驚くべきことに、昨年 10 月に開催されたフランクフルト書籍見本市では、ファンタジー小説「悪の華」を発表し、みごと作家デビューを果たしたのです。

今回の来日は法政大学に招聘されたもので、4 月 10 日に日本語のスピーカーとして朗読会が催され、交流イベントが開かれるというものでした。これも大盛況でした。

私達は今後、Winkels 君とのいっそうの交流を深め、更なる日独交流の進行を図っていきたいと思っています。



Leander Winkel 君



大手前中・高等学校 新入生歓迎会にて

# 平成21年度 香川日独協会収支決算書

(単位:円)

| I               | 収入の部                      |           | II | 支出の部                  |           |
|-----------------|---------------------------|-----------|----|-----------------------|-----------|
|                 | 会費収入                      |           |    | 事業費                   |           |
|                 | 普通会費 (93名×3,000)          | 279,000   |    | ドイツ総領事館見学会            | 11,920    |
|                 | 夫婦会員 (27組×5,000+差額分2,000) | 137,000   |    | 年次総会費(懇親会費含む)         | 247,579   |
|                 | 学生会費                      | 2,000     |    | 理事会                   | 5,000     |
|                 | 協賛会費 10社                  | 153,000   |    | ドイツ関連交流費(総領事・参事官)     | 26,840    |
|                 | 前受け金 (平成22年度分)            | 10,000    |    | ドイツ旅行                 | 3,040     |
|                 | 会費収入合計                    | 581,000   |    | ビールを楽しむ会費             | 177,000   |
|                 |                           |           |    | ドイツ総領事講演会・巡回展(懇親会費含む) | 223,511   |
|                 | 事業費収入                     |           |    | オクトーバーフェスト費           | 204,855   |
|                 | 年次総会費(懇親会費含む)             | 230,000   |    | クリスマスイベント費            | 90,803    |
|                 | ビールを楽しむ会費                 | 144,000   |    | 春をよぶ会費                | 200,968   |
|                 | ドイツ総領事講演会・巡回展(懇親会費含む)     | 160,000   |    |                       |           |
|                 | オクトーバーフェスト費               | 188,000   |    |                       |           |
|                 | クリスマスイベント費                | 72,000    |    |                       |           |
|                 | 春をよぶ会費                    | 175,000   |    |                       |           |
|                 | 事業費収入合計                   | 969,000   |    | 事業費支出合計               | 1,191,516 |
|                 |                           |           |    |                       |           |
|                 | 奨励賞金(県国際交流協会)             | 10,000    |    |                       |           |
|                 | 助成金(県国際交流協会)              | 60,000    |    |                       |           |
|                 |                           |           |    | 事務管理費                 |           |
|                 | 雑収入                       |           |    | 通信費                   | 21,430    |
|                 | 郵便局貯金利息                   | 138       |    | 事務消耗品費                | 19,489    |
|                 | 百十四銀行預金利息                 | 374       |    | 年次総会関連費               | 60,120    |
|                 | 香川銀行預金利息                  | 194       |    | 手数料(会費振込料他)           | 12,430    |
|                 | 雑収入合計                     | 706       |    | 事務管理費合計               | 113,469   |
|                 |                           |           |    |                       |           |
|                 | 当期収入合計                    | 1,620,706 |    | 当期支出合計                | 1,304,985 |
|                 |                           |           |    |                       |           |
|                 | 当期収支差額                    | 0         |    | 当期収支差額                | 315,721   |
|                 |                           |           |    |                       |           |
|                 | 前期繰越収支差額                  | 2,246,514 |    | 次期繰越収支差額              | 2,562,235 |
|                 |                           |           |    |                       |           |
| 資産の内訳(繰越収支差額内訳) |                           |           |    |                       |           |
|                 |                           |           |    |                       |           |
|                 | 前期末残高(21.3.31)            |           |    | 当期末残高(22.3.31)        |           |
|                 | 現金                        | 26,316    |    | 現金                    | 76,652    |
|                 | 郵便局振替口座                   | 0         |    | 郵便局振替口座               | 0         |
|                 | 郵便局郵便貯金                   | 374,283   |    | 郵便局郵便貯金               | 729,625   |
|                 | 百十四銀行本店普通預金               | 1,238,746 |    | 百十四銀行本店普通預金           | 1,148,595 |
|                 | 香川銀行本店普通預金                | 607,169   |    | 香川銀行本店普通預金            | 607,363   |
|                 | 資産合計額                     | 2,246,514 |    | 資産合計額                 | 2,562,235 |

## 会計監査報告

平成21年度収支決算書について、金銭出納帳、預金通帳、領収書等と照合した結果、適正に作成されているものと認めます。

平成22年4月26日

監事 古市 伯夫 (印)  
監事 大西 均 (印)

# 平成22年度 香川日独協会収支予算書(案)

(単位:円)

| 科 目                | 昨年度実績<br>① | 本年度予算<br>② | 予算差額<br>②-① | 備 考   |           |
|--------------------|------------|------------|-------------|-------|-----------|
| I 収入の部             |            |            |             |       |           |
| 1 会費収入             |            |            |             |       |           |
| 普通会員               | 279,000    | 300,000    | 21,000      | 100 名 |           |
| 夫婦会員               | 137,000    | 150,000    | 13,000      | 30組   |           |
| 学生会員               | 2,000      | 2,000      | 0           | 1名    |           |
| 協賛会員               | 153,000    | 150,000    | -3,000      | 9社    |           |
| 前受け金(平成22年度分)      | 10,000     |            |             |       |           |
| 2 事業収入             |            |            |             |       |           |
| 総会(懇親会)            | 230,000    | 250,000    | 20,000      | 50名   | 会費5,000円  |
| ビールを楽しむ会           | 144,000    | 175,000    | 31,000      | 50名   | 会費3,500円  |
| 総領事講演会・巡回展         | 160,000    | 0          | -160,000    |       |           |
| オクトーバーフェスト費        | 188,000    | 200,000    | 12,000      | 50名   | 会費4,000円  |
| クリスマスイベント費         | 72,000     | 90,000     | 18,000      | 30名   | 会費3,000円  |
| 春を呼ぶ会              | 175,000    | 175,000    | 0           | 50名   | 会費3,500円  |
| 小旅行(大阪クリスマスフェスト参加) | 0          | 50,000     | 50,000      | 10名   | 会費5,000円  |
| 3 助成金(県国際交流協会)     | 60,000     | 60,000     | 0           |       |           |
| 奨励賞金               | 10,000     |            |             |       |           |
| 4 雑収入(利息)          |            |            |             |       |           |
| 宮脇町郵便局貯金利息         | 138        | 100        | -38         |       |           |
| 百十四銀行預金利息          | 374        | 100        | -274        |       |           |
| 香川銀行預金利息           | 194        | 100        | -94         |       |           |
| 当期収入合計(A)          | 1,620,706  | 1,602,300  | -18,406     |       |           |
| 前期繰越収支差額(B)        | 2,246,514  | 2,562,235  | 315,721     |       |           |
| 当期収入合計(A+B)        | 3,867,220  | 4,124,535  | 257,315     |       |           |
| II 支出の部            |            |            |             |       |           |
| 1 事業費              |            |            |             |       |           |
| 総会(懇親会)            | 247,579    | 300,000    | 52,421      |       | 経費50,000円 |
| 理事会(会議費)           | 5,000      | 5,000      | 0           |       |           |
| 企画・情報・編集・JGK委員会    | 0          | 20,000     | 20,000      |       |           |
| ドイツ関連交流会           | 26,840     | 0          | -26,840     |       |           |
| ドイツ旅行              | 3,040      | 0          | -3,040      |       |           |
| ビールを楽しむ会           | 177,000    | 205,000    | 28,000      |       | 経費30,000円 |
| ドイツ総領事館見学会         | 11,920     | 0          | -11,920     |       |           |
| 小旅行(大阪クリスマスフェスト参加) | 0          | 50,000     | 50,000      |       | 経費50,000円 |
| 総領事講演会・巡回展・懇親会     | 223,511    | 0          | -223,511    |       |           |
| オクトーバフェスト          | 204,855    | 230,000    | 25,145      |       | 経費30,000円 |
| 会報15号発行費           | 0          | 150,000    | 150,000     |       |           |
| クリスマスイベント費         | 90,803     | 120,000    | 29,197      |       | 経費30,000円 |
| 春を呼ぶ会              | 200,968    | 205,000    | 4,032       |       | 経費30,000円 |
| 2 事業予備費(二記念日対応)    | 0          | 100,000    | 100,000     |       |           |
| 3 事務管理費            |            |            |             |       |           |
| 通信費                | 21,430     | 30,000     | 8,570       |       |           |
| 事務消耗品費             | 19,489     | 20,000     | 511         |       |           |
| 年次総会関連費            | 60,120     | 65,000     | 4880        |       |           |
| 手数料(会費振込料他)        | 12,430     | 13,000     | 570         |       |           |
| 渉外費                | 0          | 5,000      | 5,000       |       |           |
| 当期支出合計(C)          | 1,304,985  | 1,518,000  | 213,015     |       |           |
| 当期収入差額(A)-(C)      | 315,721    | 84,300     | -231,421    |       |           |
| 次期繰越収支差額(A+B)-(C)  | 2,562,235  | 2,606,535  | 44,300      |       |           |

## 平成 22 年度香川日独協会事業計画（案）

### 平成 22 年

- 4 月 11 日 2010 年全国日独協会「若手会員の集い」 出席 中尾理事  
東京ゲーテ・インスティトゥートにて
- 4 月 12 日 全国日独協会連合会総会 出席 武部会長  
東京ゲーテ・インスティトゥート、ドイツ連邦共和国大使公邸にて
- 4 月 29 日 平成 22 年度 第 1 回理事会開催、会計監査  
於：全日空ホテルクレメント高松
- 5 月 16 日 平成 21 年度香川日独協会総会開催  
於：全日空ホテル・クレメント高松 3F 玉藻の間
- 6 月 第 2 回理事会
- 7 月 サマーフェスト 「世界のビールを楽しむ会」
- 9 月 第 3 回理事会
- 10 月 香川県国際交流フェスタに参加
- 10 月 3 日 ドイツ統一記念日
- 10 月 13 日 香川日独協会創立記念日
- 10 月 17 日 ボン独日協会姉妹提携記念日（16 周年）
- 10 月 オクトーバーフェスト
- 11 月 23 日 大阪総領事館訪問, 大阪日独協会他と交流会  
大阪クリスマスフェスト参加
- 12 月 クリスマス会
- 12 月 第 4 回理事会

### 平成 23 年

- 2 月 11 日 春を呼ぶ会
- 3 月 第 5 回理事会

## 香川日独協会会則

### (名 称)

第1条 本会は、香川日独協会 (Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kagawa) と称する。

第2条 本会は、事務局を香川県内に置く。

### (目 的)

第3条 本会は、文化及び産業における日独両国間の友好関係を助長し、併せて両国民の親善を図ることを目的とする。

### (事 業)

第4条 本会は、次の事業を行う。

- (1) 講演会、研究会、展覧会、音楽会、映画会などの開催
- (2) ドイツ語講習会の開催
- (3) 文化使節・来日ドイツ人との交流及び記念パーティの開催
- (4) 会報の発行
- (5) 内外の関係諸団体との交流
- (6) その他、本会の目的達成に必要な事業

### (会 員)

第5条 会員は、日独友好・親善に熱意と関心を有するものとし、次のとおりとする。

- (1) 普通会员
- (2) 夫婦会員
- (3) 学生会員
- (4) 賛助会員 (法人会員)
- (5) 名誉会員

2 会員の資格は、次の場合に失われる。

- (1) 定められた年会費を2年以上滞納した場合
- (2) 本会の名誉を著しく棄損し、あるいは本会に損害を与えた場合
- (3) 本人の死亡

### (役 員)

第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 副会長
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事
- (5) 顧問 若干名



- 2 役員は、理事会で選出し、総会の承認を得るものとする。
- 3 理事会の決定により、名誉会長を置くことができる。
- 4 会長は会務を総理し、本会を代表する。副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、これを代理する。

第7条 役員の任期は2年とする。ただし、役員の欠員に伴う後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 役員は、再任されることができる。
- 3 役員は、任期満了の後においても、後任者が就任するまでの間は、その職務を行うものとする。

(会 議)

第8条 本会の会議は、総会及び理事会とする。

- (1) 総会は会員をもって構成する。
- (2) 理事会は、会長、副会長、理事をもって構成する。

第9条 総会及び理事会は必要に応じて会長が召集し、その議長となる。

第10条 会議の議事は、出席者の過半数の賛成をもって決定する。可否同数の場合は、議長がこれを決定する。

(総 会)

第11条 総会は、理事会から提案された次の各号について承認するものとする。

- (1) 事業計画（後援事業を含む。）及び事業報告に関すること
- (2) 予算及び決算に関すること
- (3) 会員に関すること
- (4) 役員に関すること
- (5) 会則に関すること
- (6) その他会長が、必要と認めたもの

(理事会)

第12条 理事会は、次の各号について協議し、会務を議決する。

- (1) 総会に付議する必要があるもの
- (2) 次条第一項の「委員会」に関すること
- (3) 緊急止むを得ない事情などにより、総会を開催し、承認を得ることが困難な事案
- (4) その他会長が、必要と認めたもの

2 前項第3号の決定をしたときは、直近の総会に報告し、承認を得るものとする。

(委員会)

第13条 本会は、その目的達成に必要な事項を研究、実施するために理事会の承認を経て、各種の委員会を置くことができる。

2 委員会の委員長は、原則として理事会が承認したものがこれにあたる。

(会 計)

第14条 本会の経費は、年会費、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(会 費)

第16条 本会の会費は、次のとおりとする。

- |     |      |       |          |
|-----|------|-------|----------|
| (1) | 普通会员 | 年額    | 3000円    |
| (2) | 夫婦会員 | 年額 2名 | 5000円    |
| (3) | 学生会員 | 年額    | 2000円    |
| (4) | 賛助会員 | 年額 1口 | 10000円以上 |

2 会費は、毎年4月に納入するものとする。ただし、新に会員となるものは、入会時に会費を納入するものとする。

(事務局)

第17条 本会の事務を処理するため、事務局を設ける。

2 事務局に事務局長を置き、事務局長は、理事会の承認を得て、会長が任命する。

(付 則)

1. この会則は、1991年10月13日から施行する。
2. 1993年11月27日：第5条及び第15条、一部改定追加(夫婦会員を追加)。
3. 1998年2月11日：第14条、一部改定(会計年度10月～9月を4月～3月に変更)
4. 2000年5月7日：第7条、一部改定(役員の任期3年を2年に変更)。
5. 2002年8月31日：第5条、一部改定(1年以上滞納を2年以上に変更)
6. 第6条(3)(5)の項に若干名をいれる

## 【表紙】

### イーゼンハイムの祭壇画（第2面：天使の合奏とキリスト誕生）

16世紀に活躍したドイツの画家マティアス・グリュネヴァルトの有名な作品である。最近、知る学「《怖い絵》で人間を読む」という中野京子さんの番組（NHK）で詳しく紹介され、この祭壇画の概要を知ることができた。番組によると、この祭壇画は鳴門市の大塚国際美術館にもあるとのこと。また番組では、巡礼の寸劇もあったが、鳴門のドイツ館や、鳴門の坂東捕虜収容所にいたドイツ人の作っためがね橋などが舞台となって出てきて、興味深く見ることができた。

ドイツの作曲家ヒンデミットは、この祭壇画をもとに《画家マティス》という交響曲とオペラを作曲した。交響曲《画家マティス》は1934年3月12日、大指揮者フルトヴェングラーがベルリンで初演した。1935年春にはベルリン州立歌劇場でオペラ《画家マティス》も初演しようとしたが、ヒトラーの許可が得られなかった。1934年11月25日、フルトヴェングラーが「ヒンデミット事件」という論説を新聞に発表すると大騒動となり、ベルリン・フィルの首席指揮者などを辞任した。

フルトヴェングラーの評伝は、日本でもすでに何冊か出版されたが、どれも一長一短といった感じだ。今年、拙訳で新しいフルトヴェングラーの評伝が出版される予定がある。発売されたら、店頭で眺めていただけるとありがたい。

## 香川日独協会会報 第15号

2010年5月発行

発行：香川日独協会事務局  
Japanisch-Deutsche Gesellschaft KAGAWA  
〒762-0031 香川県坂出市文京町1-2-1  
武部歯科医院気付  
Tel: 0877-46-1800 Fax: 0877-44-2888  
Mail: takebe@jdg-kagawa.org  
URL: <http://jdg-kagawa.org>  
発行責任者：武部 裕光（会長）  
編集：最上 英明  
印刷：荒木プリント社